

# 平成29年7月22日梅雨前線の概要 雄物川上流 《7月28日時点》

## 《ポイント》

- 観測史上、最高クラスの水位を記録(長野観測所、神宮寺観測所)
- 法崩れに対し、早急に応急復旧を実施
- 排水ポンプ車の出動により、浸水被害を軽減
- 水防活動及びリエゾン活動の実施

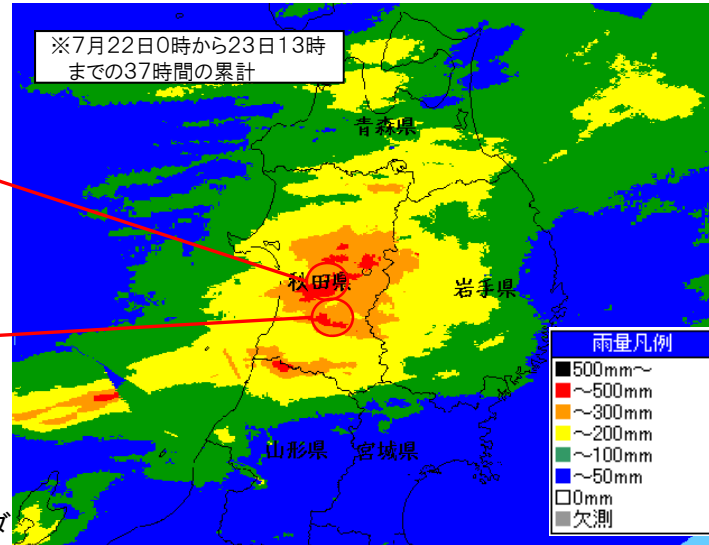
速報版に付き、今後情報が変更となる可能性があります。

# 平成29年7月出水・降雨の概要

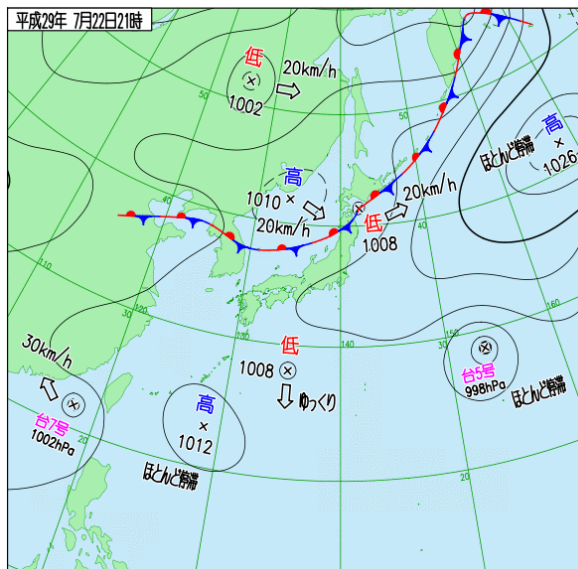
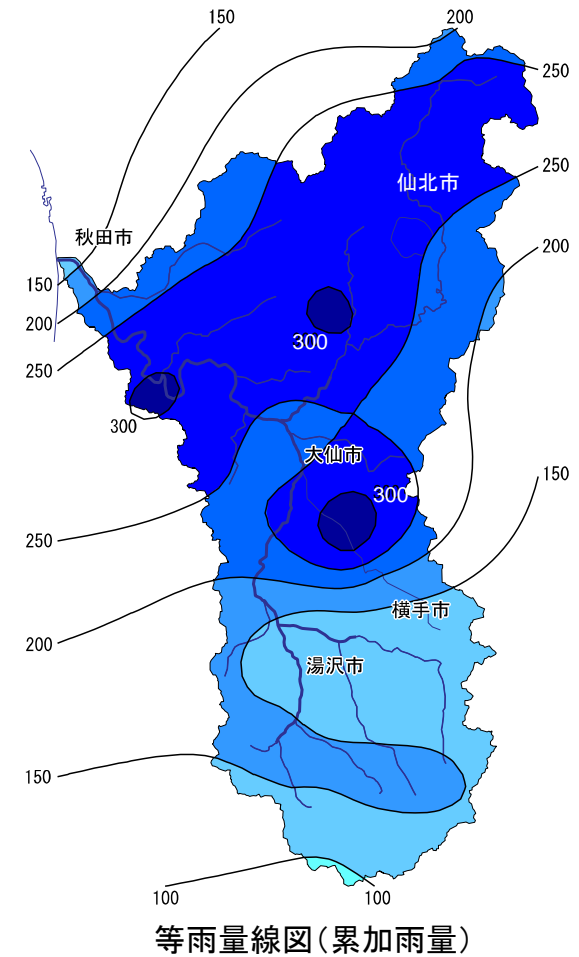
● 停滞した前線の影響により、22日正午から非常に激しい雨が降り続き、多いところで累加雨量300mmを超える大雨となった。

ゆうわ  
 ・雄和(気象庁)  
 348mm

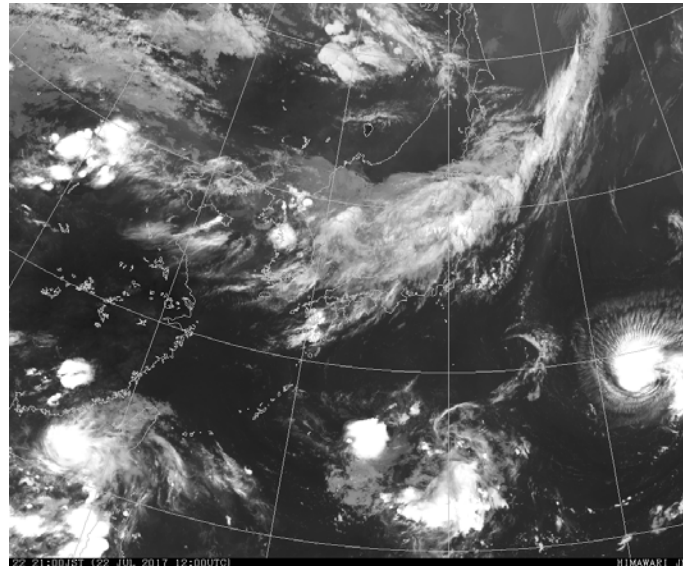
よこて  
 ・横手(気象庁)  
 314mm



累加雨量レーダー



天気図(7月22日21時頃)



衛星画像(7月22日21時頃)

※気象庁資料より

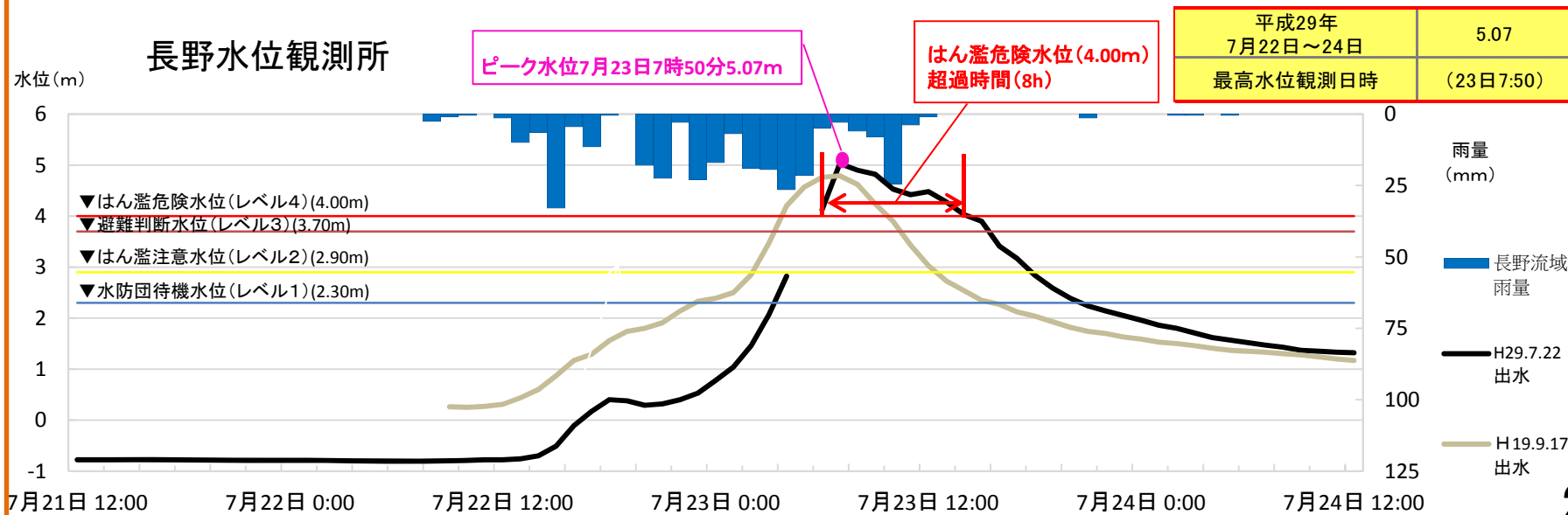
# 観測史上の最高水位を記録(長野観測所)

- ながの
- 長野観測所(大仙市長野)において、観測史上最高水位を記録した。
  - 降り続いた雨の影響により、8時間もの間、はん濫危険水位を超過した。
  - 23日5時50分にはん濫危険水位に到達。そこから更に上昇し、7時50分にピーク水位5.07mを観測(6時から7時の1時間で0.91m上昇)



観測開始からの最高水位  
上位10水位  
<長野観測所>

発生年月	水位(m)
平成19年9月	4.79
平成23年6月	4.46
平成2年7月	3.64
平成21年7月	3.57
昭和56年8月	3.55
平成10年6月	3.46
平成25年7月	3.46
昭和47年7月	3.45
平成14年8月	3.31
平成7年8月	3.29



# 観測史上第2位の水位を記録(神宮寺観測所)

じんぐうじ

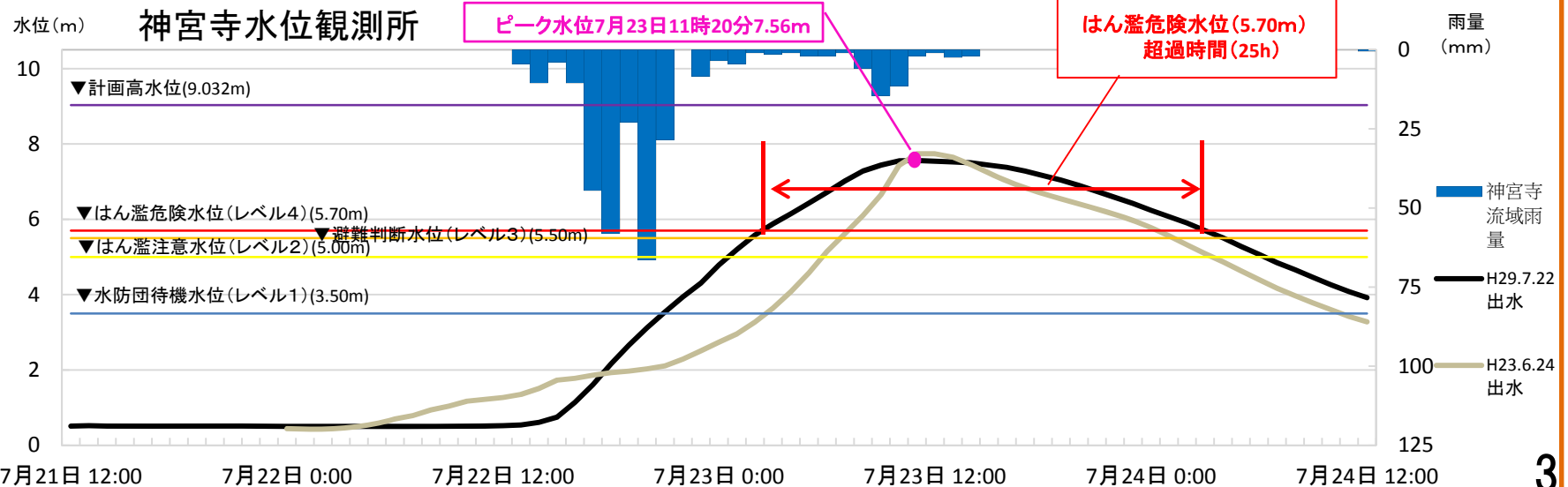
- 神宮寺観測所(大仙市神宮寺)において、観測史上第2位の水位を記録した。(7月期としては観測史上最大)
- 降り続いた雨の影響により、25時間もの間、はん濫危険水位を超過した。
- 23日0時40分にはん濫注意水位に到達し、1時50分に避難判断水位に到達、2時20分にはん濫危険水位に到達した。(避難判断水位に到達してから避難所開設に要する1時間経たないうちにはん濫危険水位に到達)



観測開始からの最高水位  
上位10水位  
〈神宮寺観測所〉

発生年月	水位(m)
平成23年6月	7.74
昭和44年7月	6.80
昭和62年8月	6.57
昭和47年7月	6.53
平成19年9月	6.41
平成25年7月	6.37
昭和54年8月	5.92
昭和55年4月	5.92
昭和46年7月	5.75
昭和56年8月	5.54

平成29年 7月22日～24日	7.56
最高水位観測日時	(23日11:20)





# 雄物川の状況



# 雄物川の状況





# 雄物川の状況



# 雄物川の状況



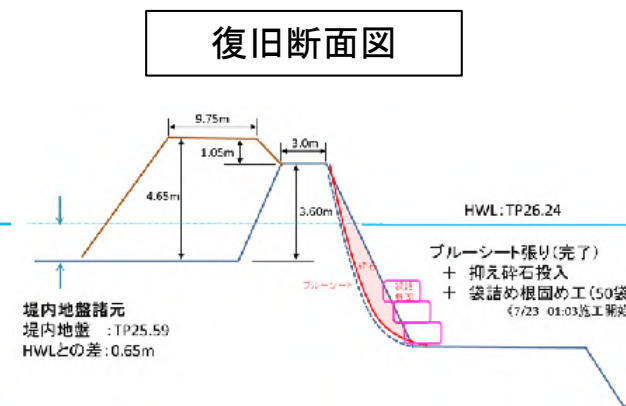
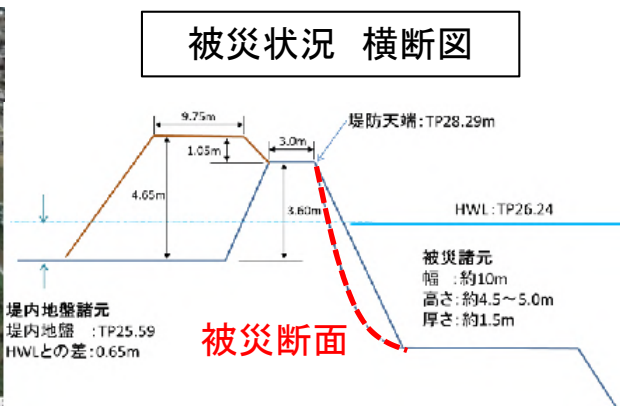


# 雄物川の状況



# 被災箇所と対応状況

- ・7月22日16時頃の強い雨より、雄物川 河口から65.2kの左岸堤防に法崩れが発生。
- ・河川の水位が上昇していたこともあり、直ちに復旧作業に着手し、7月23日 6時50分に完了した。



**表法面すべり発生状況**



被災報告: 7月22日16:20

**応急復旧(ブルーシート張り)完了**



応急復旧着手: 7月22日17:30~  
設置完了: 7月22日19:20

**応急復旧(抑え砕石投入+袋詰め根固め工)完了**



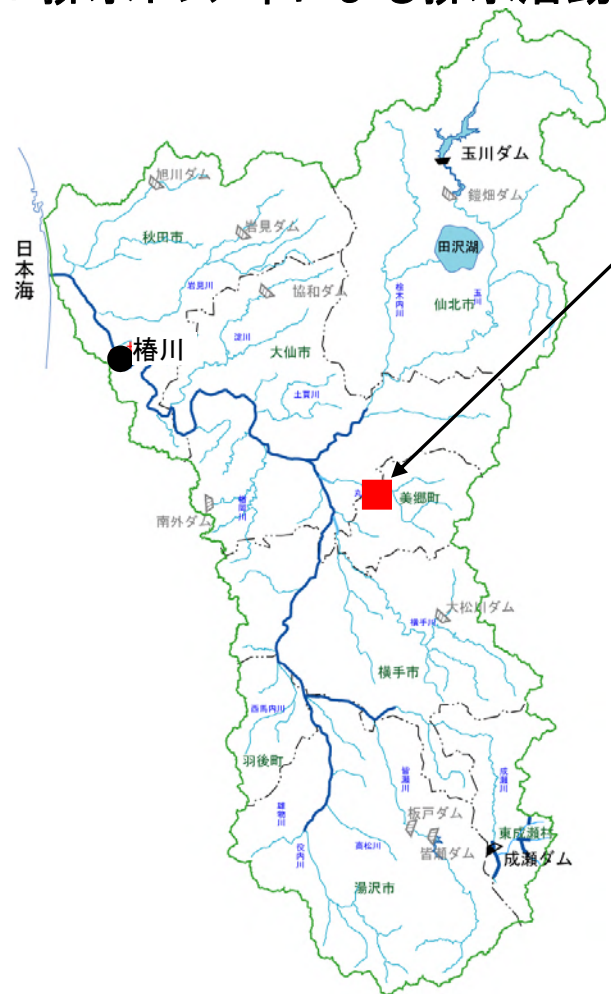
応急復旧完了: 7月23日6:50



# 排水ポンプ車の効果

## 1. 排水ポンプ車による排水活動(大仙市浜町地区)

だいせんしはまちょう



大曲浜町地区

内水(宅地側にたまった水)を  
丸子川へ排水



### 排水活動による効果

- 排水ポンプ車(30m<sup>3</sup>/min)  
約23時間稼働により、  
41,700m<sup>3</sup>の内水を排水。  
(25mプール約120杯分に相当)
- 仮に、排水が行われなかった  
場合、周辺の地区においては、  
約7haの浸水が発生したと想定。

7/22	23:30	排水開始
7/23	22:40	排水終了



想定される浸水範囲  
(浸水面積:約7ha)  
(浸水家屋数:約235戸)



# 排水ポンプ車の効果

だいせんし かくまがわ

## 2. 排水ポンプ車による排水活動(大仙市角間川地区)



7/22	23:40	排水開始
7/23	22:50	排水終了

内水(宅地側にたまった水)を雄物川へ排水



### 排水活動による効果

- 排水ポンプ車(60m<sup>3</sup>/min) 約18時間稼働により、63,600m<sup>3</sup>の内水を排水。(25mプール約180杯分に相当)
- 仮に、排水が行われなかった場合、周辺の地区においては、**約8haの浸水が発生したと想定。**



想定される浸水範囲  
(浸水面積: 約8ha)  
(浸水家屋数: 約13戸)

# 水防活動及びリエゾン活動の状況

## 1. 水防活動の実施

- 水防活動として、水防団による堤防の監視、浸水被害軽減のための排水作業、堤防からの漏水を防ぐ等の水防工法を実施。

堤防の監視



排水作業



水防工法



釜段工:

土のうを円形に積上げ、水深を保つことにより、川側との水位差を小さくし、漏水量の増加を抑え、堤防内部の土砂流出による決壊を防止する工法。

## 2. リエゾン活動の実施

- 自治体と「災害時の情報交換に関する協定」を締結しており、今回の災害にあたり、湯沢河川国道事務所からリエゾン(災害対策現地情報連絡員)を大仙市及び横手市へ派遣。
- 22日夜間から各市へ2名ずつリエゾンを派遣し、被害状況などの情報、市からの要請などを収集。
- 市内の浸水被害軽減のため、排水ポンプ車の手配・設置箇所の調整等を実施。

リエゾン活動状況



# (参考) 支部体制・洪水予報・水防警報の発令状況

## ◆ 災害支部体制

	注意体制	警戒体制	非常体制	解除
河川	7月22日 16時30分	7月22日 17時30分	7月23日 2時20分	—
砂防	7月23日 1時00分	7月23日 2時30分	—	7月24日 14時00分
道路	7月22日 13時50分	7月22日 16時20分	—	7月23日 23時10分
災害対策支援	7月22日 16時30分	7月22日 22時05分	—	—



災害対策室の状況

## ◆ 洪水予報発表状況

河川名	観測所 (市町村)	氾濫 注意情報	氾濫 警戒情報	氾濫 危険情報	氾濫 発生情報	氾濫 発生情報	解除
雄物川	大曲橋 (大仙市)	7月22日 23時30分	7月23日 0時50分	7月23日 2時30分	—	—	7月25日 15時25分
	神宮寺 (大仙市)	—	—	7月23日 2時30分	7月23日 9時00分	7月23日 12時35分	7月25日 15時25分
玉川	長野 (大仙市)	—	7月23日 5時25分	7月23日 6時40分	—	—	7月23日 19時55分

## ◆ 水防警報発表状況

河川名	観測所 (市町村)	待機	準備	出動	解除
雄物川	雄物川橋 (横手市)	7月22日 21時00分	—	—	7月23日 4時30分
		7月23日 13時40分	—	—	7月23日 21時00分
	大曲橋 (大仙市)	7月22日 21時00分	—	7月22日 22時50分	7月24日 7時20分
	神宮寺 (大仙市)	7月22日 21時00分	—	7月23日 0時50分	7月25日 13時40分
玉川	長野 (大仙市)	7月23日 3時50分	—	7月23日 4時20分	7月23日 21時00分

洪水予報の発令

水防警報の発令